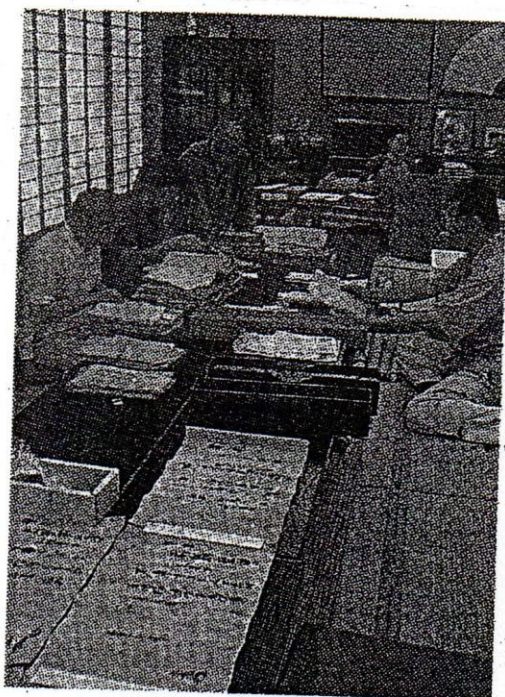


# 仁叟寺の古文書調査

## 戦国時代の制札など確認

吉井



寺に残る古文書を調べる関係者

吉井町神保の仁叟寺(渡辺啓司住職)で、寺に残る古文書の調査が行われ、戦国時代の制札など多数の貴重な資料が確認された。制札

は禁止事項などを記して道路や寺社などに立てる札。仁叟寺は室町時代の大永二年(一五二二年)に創建され、戦国時代の争乱によ

る戦火や火災にも遭わなかったために多数の文書類が残り、町から重要文化財に指定されている。

今回の調査は、古文書解読の第一人者とされる立教大の藤木久志名誉教授、早大の外園豊基教授のほか、両大学の講師、研究生などが当たり、とじられた冊子や制札の文書類を詳細に調べ、編年別に記録したり、宗教上の資料と歴史上の資料に分類したりしている。きょう二十八日まで調査は行われるが、藤木教授は「戦国時代から江戸の初めにかけての資料の残りが良いのに驚いている」と話している。

### 仁叟寺の古文書調査

戦国時代の制札など確認